令和３年８月

（公財）全国高等学校体育連盟定時制通信制部

柔道専門部事務局

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

１　本大会は、以下の４団体が示す基本方針に基づき、感染症対策ガイドラインを策定する。

（１）文部科学省

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

（２）全国高等学校体育連盟

令和３年度全国高等学校体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症

拡大防止に関する基本方針

（３）全日本柔道連盟

新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針

（４）講道館

コロナ禍における講道館道場使用時の注意事項

２　主な項目

1. 健康観察は、競技開始日を起算に１４日前から実施し、健康チェックシートへ記入すること。この１４日間の中で、次の症状が１日でも確認された場合は、出場することができない。

ア　３７．５度以上の発熱が１日でも認められた。

イ　健康チェック欄への☑がない。

ウ　濃厚接触者として保健所の指示を受けている。

ただし、受診でのＰＣＲ検査の結果、陰性であることを証明できる文書の提出により、所属する学校長の意思決定をもって、出場を許可する。

1. 各都道府県の代表者は、自チーム全員の健康チェックシート（様式１）を確認し、健康チェックシート提出用(様式２)を記入の上、大会本部に提出する。
2. 会場は無観客とし、選手、監督、引率者のみの入場とする。入場を許可された関係者（選手、監督、引率者、大会役員）へは、入口受付にてＩＤカードを発行し、常時提示できるようにすること。
3. 入場時には、常に検温と手指消毒を行い、試合時以外は、原則としてマスクを着用すること。
4. 声を出しての応援は行わないこと。
5. 手洗い及び手指の消毒を徹底すること。
6. 相手と組む状況が発生した場合は、相手を記録し明確にしておく。　  
   （氏名の記録、写真撮影等）。
7. 道場使用後、主催者は、４階受付にて噴霧器を受け取り、道場の除菌を行う。
8. 道場、更衣室等の窓、ドアを開放し、換気を徹底する。エアコン利用の際も窓を開け、常時喚起する。
9. 更衣は、指定された場所で行い、荷物は各道場に持参すること。  
   （更衣室ロッカーは使用しない）
10. ８階及び各道場での観覧は、十分な間隔をとること
11. 冷水機の使用は禁止する。飲み物は、各自で準備し持参すること。
12. 浴槽は、使用禁止とする。
13. 健康チェックは、所定の以下３点で実施する。
    1. （様式1）【第52回全国高等学校定時制通信制柔道大会　大会参加同意書健康チェックシート】
    2. （様式2）【健康チェックシート提出用紙】
    3. （様式3）【入館者名簿】
14. 検温は、大会2週間前、大会後2週間にわたって各自が行う。
15. 大会前2週間内で発熱のあった場合、その本人が医療機関にてPCR検査を受け、その陰性証明を大会事務局に提出すれば、その選手は参加可とする。
16. 試合場、待機場所等の動線については、会場内に掲示する。
17. 大会期間中、大会運営関係者（審判、補助役員を含む）に対し、毎日抗体検査を実施する。
18. 感染症対策は、状況次第で適宜改善し、周知する。